



消防大学校だより



警防科における教育訓練 ～指揮訓練について～

消防大学校では、警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させることを目的に、専科教育警防科の教育訓練を実施しています。

令和6年度の第114期では、48名の学生が所定の教育訓練を終え無事卒業しました。

今回は、警防科において実施した「指揮訓練」について紹介します。

1 安全管理能力の向上

消防大学校では、活動中における受傷事故を無くすため、安全管理能力の向上に関するカリキュラムを多く取り入れており、指揮訓練はその知識を実践する場と位置づけています。

訓練に際しては、危険に対する感受性の錬磨を図るとともに、共通認識を持つことの必要性を学びます。



指揮訓練の様子

2 指揮能力・技術の向上

消火活動における指揮をあらゆる災害における指揮の基本と位置づけ、段階を踏んで指揮能力・技術の向上を目的とした教育訓練を実施しています。

(1) 指揮訓練Ⅰ、Ⅱ

指揮訓練Ⅰでは一般的な木造・防火造建物火災を想定した小隊指揮訓練を行い、指揮訓練Ⅱでは同様の想定で中隊指揮訓練を実施し指揮技術の習得を目指します。

(2) 指揮訓練Ⅲ、Ⅳ

指揮訓練Ⅲでは、単発の建物火災及び同時火災への対応について机上シミュレーション訓練を実施します。この訓練を通して組織的消防活動における情報共有の重要性と情報処理技術を学ぶとともに、各級指揮者の任務別指揮活動について確認します。また、指揮訓練Ⅳでは、同じく机上シミュレーション訓練により、大隊長活動要領と指揮隊業務について実践します。

(3) 総合訓練

総合訓練Ⅰは、横浜市消防局を教育支援隊として招き、NBC災害対応基本活動を学びます。また、総合訓練Ⅱでは多数傷病者対応訓練について、机上シミュレーション訓練で全体の流れを学んだ後、実働訓練において一連の訓練を行います。総合訓練Ⅲは、街区火災対応訓練をシミュレーション訓練で実施後、ユニットハウスを使用し模擬街区を設定し、総合的な訓練を実施することでその効果を確認するとともに訓練終了後の検討、訓練結果報告会を実施し、研修機関の集大成としています。

研修を終えた学生からは、教官から具体的な研修目標やカリキュラム作成の意図が説明され、専門的知識をもった講師による講義や実技があり有意義であった。「現場指揮」と「安全管理」について、災害現場の視点から学ぶことができた等の意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で体得した知識と技術を元に、各所属においてさらに研鑽を重ね、指揮者としての責務を果たすべく力を発揮し、それぞれの地域で住民の生命・身体・財産を守る活躍が期待されます。

問合せ先

消防大学校教務部
TEL：0422-46-1712



「消防研修」第114号（特集：定年延長）の発行

消防大学校では、消防本部等における消防防災体制の強化のための知識・技術の向上に資するため、昭和40年（1965年）10月に機関誌「消防研修」を創刊しました。以降、毎年1回発行し、都道府県、消防学校、消防本部等に配付しています。

令和5年度から国家公務員の定年が段階的に65歳へ引き上げられていることに合わせて、地方公務員についても同じく定年引き上げられていることから、今般発行した第114号では、「定年延長」をテーマに特集しました。

わが国では、少子高齢化の急速な進展、若年労働力人口の減少により、意欲と能力のある高齢者が活躍できる場を作ることが社会全体の重要な課題となる中、国家公務員の定年の引上げについて具体的な検討が進められてきました。

そして、複雑高度化する行政課題に的確に対応し、質の高い行政サービスを維持していくためには、60歳を超える職員の能力及び経験を60歳前と同様に本格的に活用することが不可欠であることから、平成30年8月に人事院から「定年を段階的に65歳に引き上げることを基本に定年制度の見直しを行う」よう意見の申出がなされ、令和3年に関係法令が改正されました。

そこで、今回の消防研修では、地方公務員の定年延長に係る制度改正の趣旨等、また、各検討会等の報告書について改めて確認するとともに、円滑な制度の運用に資するための有識者からの提言、加えて、個人を含む各消防本部の取組について掲載しました。

なお、消防大学校のホームページでもご覧いただけます。

「消防研修」第114号（特集：定年延長）の主な掲載内容

● 巻頭言

定年引上げに伴う消防本部の課題と留意点について
消防庁消防・救急課長 畑山 栄介

1 記念祭記念講演会

・定年延長に伴う加齢困難職種の生存術とは…
[株式会社タフ・ジャパン代表取締役 鎌田 修広]

2 解説

- ・地方公務員の定年延長について
[総務省自治行政局公務員部女性活躍・人材活用推進室]
- ・「定年引上げに伴う地方公共団体の定員管理のあり方に関する研究会」報告書について
[総務省自治行政局公務員部給与与率推進室]
- ・「地方公務員の定年引上げに伴う高齢期職員の活用に関する検討会」報告書について
[総務省自治行政局公務員部女性活躍・人材活用推進室]

・「定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会」報告書について
[消防庁消防・救急課]

3 有識者からの提言

- ・消防職員の現員数一消防職員の定年引上げに関連して一
[立教大学法学部長 原田 久]
- ・消防官の定年延長～諸外国比較も視野に入れて
[早稲田大学・政治経済学術院教授 稲継 裕昭]

4 消防本部の取組

- ・定年延長
[名古屋市消防局中消防署 警防地域第一課課長補佐（老松出張所長） 額額 吉博]
- ・「ロクマル」・定年延長時代の到来
[熊本市消防局警防部警防課副課長 吉本 直樹]
- ・東京消防庁における定年引上げに対する取組
[東京消防庁人事部人事課人材管理担当係長 木原 秀人
人事企画担当係長 須山 弘一]

問合せ先

消防大学校調査研究部
TEL：0422-46-1713